

2006 年度

科目名 日本文学史Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 阪口 和子
授業テーマ 古代（上代・中古）の文学史		
授業の概要と目標 奈良時代・平安時代の代表的な作品を、特に散文文学に重点をおいてとりあげ、文学史的観点から解説します。各作品をそれぞれ別個のものとしてでなく、関連性に注目して日本文学の本質を理解できるようにしたいと思います。		
評価方法 試験、出席。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 授業時に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 古代の文学について概説 2 口承文学と書写文学 3 文字について 4 漢字と漢文学 古事記・日本書紀を読む。 5 同上 6 仮名と仮名文学 仮名の散文の成立。 7 日記文学について。土佐日記の意義。 8 蜻蛉日記・和泉式部日記・紫式部日記・更級日記等を読みながら文学史における日記文学について解説する。 9 同上 10 同上 11 随筆文学について。枕草子を読む。 12 物語について。歌物語と作り物語について。 13 源氏物語以前 14 源氏物語を読む。 15 源氏物語以後。		